

第三者による学校評価報告書(令和6年度)

令和6年度の第三者による学校評価委員会を開催し、「奄美情報処理専門学校」の自己評価結果及び発表内容をもとに、第三者及び学校関係者による評価を以下のとおり実施した。

評価実施日 令和7年5月16日(金)

第三者による学校評価委員会……5名

学識経験者1名、企業関係者1名、地域住民代表1名

卒業生代表1名、保護者代表1名

評価コメント

評価	評価に係る提言・改善等
<p>(1)教育理念・目標</p> <p>本校が掲げる教育理念と目標は、地域社会に根差した人材育成と情報分野の発展に資する内容であり、その社会的意義は大きいと評価できる。近年のDXやAIをはじめとする技術革新に対応するための教育内容の見直しや、教員研修体制の強化といった取り組みは、時代のニーズに的確に応じた前向きな姿勢として高く評価される。</p> <p>また、地元イベント等を通じた継続的な広報活動が奏功し、次年度の入学増加の見込みがあることも、社会からの信頼と期待の現れと捉えられる。今後も引き続き、理念と教育実践との整合性を図りつつ、地域と時代の要請に応える教育機関としての役割を果たしていただきたい。</p>	<p>地域社会の発展と人材育成の要として、専門学校は様々な活動を一生懸命取り組んで頂きたい。</p>
<p>(2)学校運営</p> <p>人事、給与等の規定はしっかり見直し、時代に合わせた働き方を形成してください。今後テレワーク主体の世の中になった時の為、時代に遅れない教育・環境作りを心掛ける。</p>	<p>コロナウィルスが無くなったとしても、テレワーク、リモート社会は継続すると思われる。今後リモート社会になった時、時代に遅れない教育環境作りを目指して頂きたい。</p>
<p>(3)教育活動</p> <p>企業実践授業が7年目を終えることが出来、毎年学生達に本校独自給付金を支給している状況はとても素晴らしいと評価する。</p>	<p>またその他の企業ともこれまで以上に連携を深めて、在校生に色々な知見等を広げてもらいたい。</p> <p>IT業界は情報変化が著しく、カリキュラムの見直し適正化を図ってほしい。特に社会人基礎力の育成（特にコミュニケーション）に注力すること。</p>

<p>(4)学修成果</p> <p>R6年度就職希望者内定率100%、退学者0%</p> <p>この状況は専門学校としての存在意義をしっかりと果たしていると評価する。</p>	<p>就職希望者100%退学者0は大きな成果であり、学習支援や学生対応が適切に行われていると感じる。引き続き実践的な学びを支援してほしい。</p>
<p>(5)学生支援</p> <p>本校独自の給付型奨学金や日本学生支援機構奨学金制度など様々な充実した手当を備えておくよう努めて頂きたい。※現在2社が学生に対し、学習成果により修学のため本校独自の給付奨学金を支給している。</p>	<p>昨今の社会情勢でとても現場は大変だと思うが、引き続き学生に対して手厚い対応を望みます。</p>
<p>(6)教育環境</p> <p>県外から特別授業として、プロの講師が直接指導教育して頂ける環境を整備しており、実際の業務レベルで講習を受けられる環境を整備している。</p>	<p>企業、現在も実務に携わる講師から直接学べるのはとてもいい機会だと感じる。</p> <p>来年度も継続できるよう企業との連携を図ってください。</p>
<p>(7)学生の受入れ募集</p> <p>今年度留学生新入生は0人でした。島内だけに限らず、島外の募集をしっかり考えないと健全な学校運営が難しいと考える。</p>	<p>学校規模で考えると、募集と受入は適切に行われている。島外に対してうまくPR出来れば尚良い。島外に就職した卒業生の声やSNSを駆使して告知を頑張りたい。</p>
<p>(8)財務</p> <p>近年の物価上昇や施設維持費の増加に伴い、運営継続の厳しさを感じている。奄美市との連携を視野に入れ今後活動してほしい。</p>	<p>補助金なしでは限界を迎えていると考える。更なる基盤の安定化を目指し努力してください。</p>
<p>(9)法令等の遵守</p> <p>自己評価の問題点を改善するために、職員一人一人がしっかり意識しながら対応しなければならぬと強く感じます。</p>	<p>法令等はしっかり厳守しており評価する。</p> <p>自己評価の改善に関して、直ちに改善できる項目から作業を進めてください。</p>
<p>(10)社会貢献・地域貢献</p> <p>ボランティア活動を推奨することは素晴らしいが、休日に活動を行うのは難しいと感じた。</p> <p>自発的な意思を学生に持ってもらうのも教育の一端だと考える、引き続き教育指導をお願いしたい。</p>	<p>積極的に社会貢献を行っていると感じる。引き続き様々な活動に取り組んでもらいたい。</p>
<p>(11)国際交流</p> <p>奄美大島島内の日本語学校の存在が大きいと感じた1年だった。万が一に備え、留学生受け入れ態勢を継続して頂きたい。</p>	<p>日本は外国人労働者受け入れを整えつつあるが、まだ不足していると民間は感じている。教育を提供していくのは継続していかなければならないと考える。専門学校の存在意義を再認識する素晴らしい機会と捉えて頂きたい。</p>